

令和5年度在宅療養支援研修

関東地区42名、北海道東北地区35名が参加し、計77名で研修を開催しました。

【目的】

患者・家族が安心して地域で生活するための在宅療養支援に関する知識を習得し、実践に生かすことができる能力を向上する。

講義

退院支援に関わっている看護師や医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員の方から、実際の事例を交えた講義を受けました。



グループワーク

2～3施設で構成されるグループで、これまでに関わった在宅療養支援事例をグループメンバーと共有し、在宅療養支援を推進するために必要なことと私ができることについて、話し合いをしました。



受講生の声

- ・各講義で、事例の紹介があり、各職種の役割がイメージしやすく分かりやすかった。
- ・地域包括ケアシステムや在宅療養の援助について、MSWやケアマネ等他職種からの視点について 知ることができとても有意義な研修だった。
- ・事例検討を通して、自分一人では考えられなかったこともたくさんあり、他者の意見が聞けてとても勉強になった。

在宅療養支援に関する知識の習得に繋がられた研修となったようです。事例検討の際は、自分たちにできる支援について活発な意見交換がなされ、今後の自身の役割やチームで取り組むべき事を考える機会となったとの意見が寄せられました。

ご協力いただいた関係者の皆様にはこの場をお借りしてお礼申し上げます。